

運営事業

1、日常活動報告

①日常活動について

安全で自由に過ごせる環境を整備し、登室から退室まで、放課後ルームや校庭等で職員が子どもたちを見守り、また、積極的に関わり信頼関係構築に努めた。学年の違いに配慮しながらも異学年での交流が生まれるよう働きかけを行った。

30分程度の学習タイムを設け、子どもたちが集中して学習できる環境づくりに努めた。児童の参画も意識し、リクエストボックスを積極的に活用した。

②企画活動について

以下の通り、行事・企画活動を行った。主に工作や運動遊び、レクリエーションの要素を持った活動を中心に企画活動を実施した。

4月

実施日	イベント名	参加人数	内容
4～7日	ビーズアクセサリ	33名	高学年向けに、ビーズを使用したアクセサリ作りを行った。
19～23日	ミニ迷路作り	74名	コースター、ストロー等を使用して遊べる迷路作りを行った。
28日	王様ドッジボール	25名	校庭にて各チームで1人王様を決めたドッジボールを行った。

5月

実施日	イベント名	参加人数	内容
10～14日	デコパージュ作り	36名	高学年向けに、石鹼に専用の液を使用したデコパージュを行った。
19、20日	しっぽとり	78名	新1年生も含め、校庭にてしっぽとりを行った。
24～27日	スライム作り	121名	洗濯のり、ホウ砂、食紅をしようしてスライム作りを行った。

6月

実施日	イベント名	参加人数	内容
7～10日	スーパーボール作り	31名	高学年向けに、塩、食紅、洗濯のり、水を使用してスーパーボール作りを行った。
13～16日	くるみボタンパッチ	98名	好きな布を選び、くるみボタンのキットを使用してオリジナルのくるみボタン作りを行った。
23、30日	ビーチボールバレー	59名	大きなビーチボールを使用して体育館にてバレーボールを行った。

7月

実施日	イベント名	参加人数	内容
11～15日	ポイのサマーカード作り	130名	金魚すくいのポイにシールを貼り、メッセージを書いてカード作りを行った。
21日	オセロ返し	45名	体育館にて各クラブ、ひろばごとにオセロ返しを行った。
26～29日	貝殻リースづくり	24名	高学年向けに、貝殻やシーグラスを使用した夏のリース作りを行った。

8月

実施日	イベント名	参加人数	内容
1～13日 ※5、11日を除く	描けるうちわづくり	112名	うちわのキットを使用し、好きな絵柄を描いてオリジナルのうちわ作りを行った。
24～27日	お菓子の宝物ボックス	24名	高学年向けに、段ボールやセロハンテープの芯、フェルトを使用し、ケーキの様な小物入れ作りを行った。
30日	真夏の！雪玉大作戦！	65名	ボア素材で出来た雪玉を使用し、体育館にて各クラブで2チームに分かれて雪合戦を行った。

9月

実施日	イベント名	参加人数	内容
5～16日 8～10日は除く	ブックマーカーづくり	125名	単語帳にマスキングテープやシールを貼り、オリジナルのしおり作りを行った。
8日	カラフルリングとりゲーム	32名	カラフルなリングを使用し、校庭にて指定された色の場所に立つ、椅子取りゲームのようなゲームを行った。
20～24日	ミラクル貯金箱	35名	高学年向けに、段ボールの箱やミラーペーパー等を使用した仕掛けのある貯金箱づくりを行った。

10月

実施日	イベント名	参加人数	内容
4～8日	クモのすリースづくり	112名	紙皿に毛糸を通し、クモのすに見立てたハロウィンに向けてのリースづくりを行った。
18～22日	魔法の杖づくり	27名	高学年向けに、箸、グルーガン、アクリル絵の具、ビーズを使用し、本格的な魔法の杖づくりを行った。
27日	ビーチボールドッジボール	43名	ビーチボールを使用し、校庭にて学童とひろばの児童混合でドッジボールを行った。

11月

実施日	イベント名	参加人数	内容
15～19日	オリジナル巾着づくり	39名	高学年向けに、無地の巾着に立体的になる特殊なペンを使用したオリジナルの巾着を行った。
21～30日 23,25,28日は除く	オーナメントづくり part1	106名	クリスマスに向けてのオーナメント作りを樹脂粘土とクッキーの型を使用し行った。

12月

実施日	イベント名	参加人数	内容
6日～17日 10、14、16は除く	オーナメントづくり part2	101名	11月に作成した粘土のパーツをガチャガチャのカプセルに入れ、飾り付けをし、オーナメント作りを行った。
22日	しっぽとり		雨天のため中止
24～28日	お正月飾り	12名	高学年向けに、造花や折り紙、水引きを使用し、卓上用の正月飾り作りを行った。

1月

実施日	イベント名	参加人数	内容
10日～19日 16、18は除く	クリアファイル風車づくり	71名	カラークリアファイル・ストロー・竹串を使用し、風車づくりを行った。
23日	タイムアタック		雨天のため中止
24日～28日	ほんものみたいなケーキづくり	40名	高学年向けに、段ボールに紙粘土を絞って生クリームに見立て、ビーズ、ボタン等を使用し、本物のようなケーキ作りを行った。

2月

実施日	イベント名	参加人数	内容
2日～9日	ねんどでカップケーキ	87名	カラー紙粘土、ペットボトルキャップ、ビーズ等を使用し、ミニカップケーキ作りを行った。
17日	しっぽとり	25名	校庭にて低学年と高学年に分けてはちまきを使用し、しっぽとりを行った。
21日～25日	アクリルキーホルダーづくり	28名	高学年向けに、焼いたプラバンにシールやスパンコール等を貼り、レジンを使用し、アクリルキーホルダー作りを行った。

3月

実施日	イベント名	参加人数	内容
7日～14日 ※10日は除く	ドアノブサインプレート	91名	色画用紙、ラミネートシート、ボタンやビーズを使用し、オリジナルのドアノブサインプレート作りを行った。
27日	大玉ころがし		雨天のため中止。
28日～31日	オリジナルミラー	38名	高学年向けに、段ボールやミラーシート、紙粘土等を使用し、オリジナルの鏡作りを行った。

2、行事報告

事業計画に基づき定期的に行事を実施する予定だったが、感染症対策のため中止とした。四季の変化を感じ取り、日本の文化や伝統に親しみを持ち、自分の住む地域に愛着を持つことを目的に企画した。

実施日	活動	参加人数	内容
10月31日	ハロウィンパーティー	116名	各教室にてハロウィンに因んだゲームを用意し、仮装をしながら楽しんだ。
11月28日	秋のスポーツフェス	29名	校庭にてサッカーやバスケットなど5つのコーナーを設け、様々なスポーツを楽しんだ。

3、特別活動報告

王子第三小学校の学区域内に居住する、または北区内に居住する特別な専門技術を有する方を講師とする活動、保護者も一緒に楽しめる活動、学校外をステージとする活動を実施した。

※8月1日～8月31日…感染症拡大防止のため講師行事は中止とした。

実施日	活動	参加人数	内容
4月11日	野球タイム	13名	地域在住の講師の指導の下、野球を楽しんだ。
4月25日	野球タイム	10名	地域在住の講師の指導の下、野球を楽しんだ。
5月18日	フットサル教室	11名	講師の指導の下、フットサル教室を行った。
6月18日	親子パステル画教室	15名	講師の指導の下、親子でのパステル画教室を図工室にて行った。

6月20日	野球タイム	26名	地域在住の講師の指導の下、野球を楽しんだ。
6月22日	ポッチャ	18名	講師の指導の下、ポッチャ体験をして楽しんだ。
6月25日	日舞教室	12名	講師の指導の下、日舞教室を第二学童教室にて行った。
7月4日	野球タイム	17名	地域在住の講師の指導の下、野球を楽しんだ。
7月25日	野球タイム	7名	地域在住の講師の指導の下、野球を楽しんだ。
9月10日	相撲教室	13名	地域在住の講師の指導の下、相撲教室を行った。
9月17日	相撲教室	11名	地域在住の講師の指導の下、相撲教室を行った。
9月24日	相撲教室	11名	地域在住の講師の指導の下、相撲教室を行った。
9月26日	野球タイム	2名	地域在住の講師の指導の下、野球を楽しんだ。
10月3日	野球タイム	14名	地域在住の講師の指導の下、野球を楽しんだ。
10月8日	相撲教室	14名	地域在住の講師の指導の下、相撲教室を行った。
10月12日	ポッチャ	20名	講師の指導の下、ポッチャ体験をして楽しんだ。
11月7日	野球タイム	19名	地域在住の講師の指導の下、野球を楽しんだ。
12月2日	俳句教室	7名	講師の指導の下、俳句教室を行った。
12月10日	手芸教室	14名	地域在住の講師の指導の下、手芸教室を行った。
12月14日	ポッチャ	13名	講師の指導の下、ポッチャ体験をして楽しんだ。
1月5日	書初め教室	20名	地域在住の講師の指導の下、体育館にて書初め教室を行った。
1月18日	トントン相撲	8名	地域在住の講師の指導の下、図工室にてトントン相撲づくりを行った。
1月30日	野球タイム	9名	地域在住の講師の指導の下、野球を楽しんだ。
2月27日	野球タイム	10名	地域在住の講師の指導の下、野球を楽しんだ。
3月6日	野球タイム	11名	地域在住の講師の指導の下、野球を楽しんだ。
3月20日	野球タイム	9名	地域在住の講師の指導の下、野球を楽しんだ。

学校外をステージとした活動

実施日	活動	参加人数	内容
11月28日	読み聞かせ会	4名	八幡山子どもセンターにて、乳幼児に紙芝居の読み聞かせやカプラで一緒に遊ぶ等をし、交流を深めた。
3月28日	読み聞かせ会	7名	八幡山子どもセンターにて、乳幼児に紙芝居の読み聞かせやカプラで一緒に遊ぶ等をし、交流を深めた。

4、クラブ活動報告

【お茶クラブ】

目的：①日本の伝統文化に触れながら、茶道の基本を学ぶ。

②日常生活での礼儀やマナー等のお作法を知り、身に付ける。

登録人数：13名

活動開催回数：11回

延べ参加人数：112名

内容：感染症対策として、お抹茶やお菓子の提供はせず、正座やお辞儀の正しい仕方や着物の着方、茶碗や茶筌の使い方等を実物に触れ、雰囲気味わいながら茶道の基本を体験し、学んだ。

5、実行委員会報告

放課後子ども総合プラン事業について話し合う場として定期的に開催した。内容としては活動報告、様々な課題についての協議等を行った。今年度は6月、9月、12月、3月の4回開催した。メンバーは学校関係者、地域関係者、PTA関係者、管轄児童館関係者であった。

回数	日時	出席者	議題
第1回	6月9日	22名	・職員紹介・事業計画、事業報告・利用状況・活動予定
第2回	9月15日	20名	・登録状況・利用状況・活動予定

第3回	12月8日	21名	・登録状況・利用状況・活動予定・冬季運営について
第4回	3月7日	21名	・登録状況・利用状況・活動予定

6、その他の活動報告

(1) 広報活動

① わくわく王三ひろばだより

毎月発行しているわくわく王三ひろばの情報誌でその月の企画や行事を掲載した。

学校を通じて全校児童に配布した。また実行委員会の方、地域施設等、子どもわくわく課を通じてすべてのわくわく☆ひろばに配布した。

② ホームページ

わくわく王三ひろばは独自のホームページを持っており、北区のホームページとリンクしている。

ホームページには施設の概要や最新情報などを載せており、施設を利用したことのない人や遠方の人まで幅広い対象にわくわく王三ひろばをアピールできる場となった。また、自然災害などの有事の際の情報発信の場としても活用した。

③ 元気です

社会福祉法人東京聖労院の広報誌。年3回の発行。王子第三放課後子ども総合プランで行われた行事の報告などを載せている。

(2) 防災訓練

利用者の安全を守るため、防災計画をたて、訓練を行った。有事の際に混乱なく避難できるように訓練した。

実施日	活動	参加人数	内容
4月28日	避難訓練(地震)	70名	震度6弱の地震を想定し、教室から廊下へ避難をする訓練を行った。
5月13日	防犯訓練	88名	不審者の対応などの防犯に関する紙芝居を見て防犯ブザーの使い方などの再確認を行った。
6月10日	避難訓練(火災)	90名	火災を想定し、各教室から校庭へ避難をする訓練を行った。
7月21日	避難訓練(不審者)	85名	不審者侵入を想定し、各教室ごとにバリケードやさすまたを使用し、避難をする訓練を行った。
8月30日	避難訓練(地震)	67名	震度6の地震を想定し、各教室から水族館前まで避難をする訓練を行った。
9月28日	避難訓練(地震)	85名	地震を想定し、各教室から水族館前まで避難をする訓練を行った。
10月21日	防災訓練(地震・火災)	68名	震度6の地震後の火災を想定し、各教室から校庭へ避難をする訓練を行った。
11月28日	避難訓練(地震)	29名	校庭にて行事中の地震発生を想定し、校庭中央に避難をする訓練を行った。
12月6日	不審者対応訓練 ※職員のみ	7名	職員を対象に、北区生活安全担当課による防犯教室に参加し、さすまたの使い方や不審者対応の仕方等をDVDや講話を通して学んだ。
1月25日	避難訓練(地震)	68名	震度6の地震を想定し、室内から校庭へ避難をする訓練を行った。
2月24日	避難訓練(地震)	85名	地震を想定した訓練であったが、雨天だったため、校庭への避難は無しにし、各室内から廊下への避難となった。
3月23日	避難訓練(不審者)	63名	職員1名が不審者役となり、各教室へ回り、児童と職員は各教室にて避難をする訓練を行った。

(3)苦情・事故対応

- ・6月21日(火)午後4時30分頃、校庭遊び中にサッカーをしていたところ、他の児童が蹴ったボールが右手首に当たる。痛みを訴え、自分で流水で冷やす。室内に戻ろうとしたところ、保護者が迎えにきたため説明後、引き渡した。帰宅後、様子を見ていたところ、腫れがでてきたため翌日に十条かねたか整形外科を受診し、右手首軟骨の骨折と診断される。その後の対策として、校庭に出る際には怪我をしないように児童に声掛けを行った。

(4)その他

- ・お弁当対応について

土曜日や学校休業日に毎回お弁当対応を行い、その様子や人数(内訳も含む)を記録し、教育し、教育委員会に報告した。年間の中では数件のお弁当対応のルールに沿わないケースもあったが、特に問題なく、対応することができた。

- ・児童の再登校について

一度に限り児童の再登校を可能とする活動を行った。

王三小クラブ概要

1、王三小クラブ(学童クラブ)とは

王子第三放課後子ども総合プランの事業の一つとして、北区から業務委託を受け、西が丘児童館管轄のもと学童クラブ事業(放課後児童健全育成事業)を行っている。

日常生活と健全育成の場として、小学校内に専有の部屋と担当の職員を配置し、運営を行っている。

- ①利用時間) 月曜日～金曜日 下校～午後6時
延長育成 午後6時～午後7時
学校休業期間 午前8時15分～午後6時
延長育成 午後6時～午後7時
土曜日 午前8時15分～午後6時

- ②定 員) 40名

2、1日の子どもの動きについて

【学校開校日】

学校終了後～	登室
	学習タイム
	自由遊び
16:00	おやつタイム
	おやつ終了
	自由遊び
16:40	帰宅準備
16:45	帰りの会
17:00	帰宅開始
	コース帰り
17:30	コース帰り
18:00	コース帰り
	※以降延長育成
19:00	帰宅終了

【学校休業日】

8:15	登室
	部屋遊び
9:00	学習タイム
10:00	集団遊び
10:30	自由遊び
12:00	昼食
12:45	片付け・
	休憩タイム
14:00	自由遊び
15:00	集団遊び
16:00	おやつタイム
	おやつ終了
	自由遊び
16:40	帰宅準備
16:45	帰りの会
17:00	帰宅開始
	コース帰り
17:30	コース帰り
18:00	コース帰り
	※以降延長育成
19:00	帰宅終了

3、学童クラブの運営について

第一と第二で階が分かれているため、遊ぶ時間、おやつ提供などは統一できるよう各クラブでのミーティング、学童全体のミーティングの時間を多く設けた。また、全職員でのミーティングの時間は、密になるため設けることが難しい分、常勤職員がしっかりと情報を下ろし、学童と放課後子ども教室との一体運営の意識を職員間で共有できるように意識した。そして、今年度も新型コロナウイルスの感染症対策を踏まえてどのように運営していくかを念頭に置き、話し合いを進めた。年間行事では学童職員から1名配置し、それぞれの運営形態から生じる弊害や活動時間のずれを調整することで、行事運営の円滑を図った。

①子どもとの関わりについて

1人1人が過ごしやすい環境作りに配慮し、安心してのびのびと生活・活動ができるように個別に対応をした。また、小さな集団から大きな集団へと意識が向くよう班を形成し、仲間意識と帰属意識を高めるために定期的に班替えを行った。

学習タイムでは、集中して取り組めるよう班で取り組むことを基本に、学習が終わった子から順次、本読みをするように促した。環境を整備することで子ども達にも意識が芽生え、子ども同士で声掛けが出来るようになってきた。そのほか、学童クラブ独自の行事などを設け、子どもたちが楽しく過ごせるよう工夫をした。

②おやつ提供について

保護者から毎月徴収しているおやつ代を使用し、毎日4時00分頃（各学年の下校時間によって異なる）におやつを提供した。栄養面に配慮し、子どもたちが十分なエネルギー補給ができるよう工夫した。

月1回の誕生会の日には、31アイスクリームを購入しその月の誕生児童をお祝いした。

また、新型コロナウイルスの対策として北区の方針により学年別育成となった際は、9月10日～9月30日、1月24日～1月31日の期間は、おやつを小袋に分けて、毎日配布し持ち帰りとした。10月、2・3月の期間は、おやつを休止し間食費は領収しなかった。

2度目の学年別育成では、北区の方針により延長利用児童に関しては、保護者の任意によりおやつを持参が可となった。毎日18時以降、おやつを食べる時間を設け、1人1台の机で黙食をするなど感染症対策を徹底した。おやつを食べない児童もいるため、部屋を分ける配慮を行った。

③保護者との関わりについて

毎日の連絡帳や年2回実施した保護者会、各学年の個人面談を通して日々の子どもの様子を伝え、よりよい運営を行うために情報を共有した。親子ふれあいイベントは新型コロナウイルスの感染症対策の観点から、今年度も中止とした。

④安全の確保について

保護者と協力して、出欠の把握を徹底するとともに、子どもたちに対しても、安全確保の意識が高まるように日常的に指導した。

また、王三小クラブに在籍する児童の居住地域が四方に分かれていたため、児童の帰宅時の安全を図れるよう、4つのコースに分け、17:00帰り、17:30帰り、18:00帰り3回、集団下校を実施した。また、4月と10月11日～2月の期間はシルバー人材センターの地域ふれあいパトロール員が、拠点送りをを行った。

4、子どもの様子について

今年度も新型コロナウイルス感染症対策を講じての1年間となった。

登室時やおやつを食べる前などには消毒を徹底し、健康チェックカードを用いて毎体温を確認、子どもたちの体調管理を行った。

室内遊びでは、子ども同士の間隔がとれるように机の台数を増やす、玩具や本の数を増やすといった対策を行いながら過ごした。その中でも子どもたち同士で様々な遊びが展開され、異学年と関わる姿も多く見られた。

外遊びでは、王子第三小学校の校庭で各々元気に体を動かした。感染症対策の観点から、部屋同士の行き来を中止していたため、唯一関わる事が出来る外遊びでは、他の部屋の児童と交友関係を深める事が出来た。

長期休みの際は、毎日集団遊びを取り入れて異学年と楽しく関わる機会を多く設けた。

また、北区の方針により感染症対策の一環として行われた学年別育成では、当初困惑した様子を見せる子どもたちだったが、徐々に順応していき同学年の友だちと笑顔で遊ぶ姿が見られるようになった。ハロウィンでは各学年で学年独自のゲームの企画を考え、節分では校庭を用いて、普段よく遊ぶ遊びを応用したものを王三小クラブ第一・第二全児童で行うなど、限られた中でも年間行事を堪能することができた。わくわく王三ひろばの行事にも、一般の児童と交流を図ることは中々難しかったが、部屋ごとに分けて開催するといった方法を用いて参加することが出来た。普段学童クラブではあまり経験できない遊びや学びを体験する良い機会となった。

5、資料

年間行事・活動報告

月別在籍児童数

月別出席児童数

月別平均出席日数